

山形県緑の少年団サマージャンボリーに参加しました

令和4年8月3日(水)、上山市の蔵王坊平ライザワールドで開催された第13回山形県緑の少年団交流研修大会(蔵王坊平サマージャンボリー)に当署五十嵐伸哉地域林政調整官らが参加し、蔵王アオモリドマツ林の枯損と再生に向けた取組についての座学の講師を務めました(写真左・中)。

本大会は、「山形県内各地の緑の少年団が相集い、森林をフィールドとした体験学習を通じて、緑と親しみ、緑を愛し、緑を未来につなぐ心を育むとともに、緑の少年団活動の発展に資すること」を目的に、山形県、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構、山形県緑の少年団連盟等が主催しているもので、コロナ禍のため3年振りの開催となりました。

当日は、県内各地の11の緑の少年団から77人が参加し、座学では、五十嵐地域林政調整官から、アオモリドマツの再生に向けた取組の説明を受けたほか、アオモリドマツの球果の採取に用いる長い竿を手にして作業を体感しました(写真右)。

サマージャンボリーは、悪天候のため、上山市で進められているクアオルトウォーキングコースでの森林学習はとりやめとなりましたが、団員の皆さんは、代わるプログラムとしてカイトづくりに挑戦し、しめくりには主催者を代表して、やまがた森林と緑の推進機構の今井敏理事長が激励の言葉を述べて閉会となりました。

たいへん息の長い取組となるアオモリドマツの再生に向けて、今回のサマージャンボリーが、緑の少年団員の皆さんに、地域の森林と再生に関心を持っていただけるきっかけになったことを期待しながら、美しい森林の再生に取り組んでまいります。

